

ドイツ留学も九か月目に入った頃のことである。午後の演習の前に、指導教授が私に質問をされた。「今朝の講義は理解できましたか？」そこで答えた。「はい、今朝は八時に起きました」。先生は心持ちのけぞった感じであった。私にしては素早く、しかも由緒正しく答えた。つもりであった。しかし、どうも様子がおかしい。そこで聞き返し、事情が飲み込めたのであった。

時折、授業の後に、留学を考えている学生たちから語学の学び方について尋ねられることがある。その度にまず思い浮かぶのは、かつてのこうした珍問答である。

そんな私が留学直前に読んで慰められた本がある。フランス文学者の河盛好蔵さんの『人とつき合う法』（新潮文庫）である。その中にこんな一節があった。「下手な外国語の方がかえって相手を安心させ、相手に親愛の情を呼び覚ますことが多いのである」。事実、私はドイツで大いに親愛の情を呼び覚まし、好意をもつて迎えられたのであった。それにしても、留学にあたって、その国の言語をしつかり学んでおくことは、必須のことではないかと思う。時々、添削してほしいとドイツ語で書いた手紙を持ってきて見せる人たちがいる。その際、基本的な文法の知識が不足しているなど感ずることがたまにある。確かに音楽は言葉の壁を越えて強く心に訴えかけてくる。けれども曲の内容を深く理解し、指導の先生の助言を正確に聞き取るためには、そして様々な暮らしの場面できちんとした対応をするためにも、語学の勉強を怠ってはならない。

しかし、それでもなお思うようにならず、辛い思いをすることもあるだろう。そんな時は、私の「どじな話」を思い起こして、落ち込むことなく朗らかに過ごしてほしい。親愛の情を呼び覚ます、愛らしい人なのだから。

## Parlandoのあゆみ

はるらんど

その6

## 楽譜ランド

前回ご紹介した「ガクフ がくふ 楽譜 いろいろ」に引き続き、当館所蔵の楽譜に焦点を当てたシリーズです。176号（1992年5月発行）に第1回掲載、現在継続中です。

- 1 版画と楽譜と (176)  
楽譜として制作されたシルクスクリーン作品。
- 2 コンプリート・ザ・ビートルズ (180)  
ビートルズ作品212曲のコーラス、ギターI、II、バス、ドラム用楽譜。
- 3 CDやビデオ付き楽譜 (181)  
関連する内容のCDやビデオがある楽譜。2007年9月現在OPACで検索できない資料の情報を含みます。
- 4 ピュイグ=ロジェ先生の楽譜 (182)  
故アンリエット・ピュイグ=ロジェ先生（本学元外国人教授）寄贈楽譜など。
- 5 その後のアリス (183)  
『はるらんど』143号の記事に続く『不思議の国のアリス』を題材にした作品。
- 6 まだない (184)  
本学で行われたヨハネス・フリッチュ氏（作曲）の講演会で取り上げられた作品の、発注中資料（当時）について。
- 7 交響曲を「ピアノ」で弾く (185)  
交響曲のピアノ2台、または連弾用楽譜。
- 8 大きすぎる楽譜達 (194)  
サイズが大きくて通常の書架に収まらないピアノ用楽譜。
- 9 季節はずれの「ホワイト・クリスマス」(205)  
《ホワイト・クリスマス》の作曲家アーヴィング・バーリンの作品集。
- 10 「レンタル楽譜」は図書館では借りられません (207)  
レンタル楽譜の入手方法。
- 11 ショスタコーヴィチ「交響曲第7番 作品60 レニングラード」 自筆譜ファクシミリ版を探す方法 (217)
- 12 こどものうたは [童謡][ドウヨウ]で OPAC 件名活用術 (220)
- 13 夢二とセノオ楽譜 (242)  
竹久夢二装幀のセノオ音楽出版の楽譜。

\* かつこ内は掲載された号数です。

\* 現在の資料検索方法とは合致しない内容が一部含まれています。

\* 現在は請求記号が変更になった資料が一部含まれています。また、現在は所蔵していない資料についての紹介が一部含まれています。記事を参照して資料を請求する際は、再度OPACで確認してください。

\* 記事の内容を読みたい場合は、請求記号P1154と希望の号数を書いて、図書館カウンターで請求してください。